

を実施します！

東京文化財ウィークは、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただこうと始められたもので、今年で8年目を迎えます。文化財所有者が中心となって実施する文化財の「公開事業」と、都区市町村等が中心となって文化財めぐりや文化財に関する展示などを行う「企画事業」があります。

公開事業 11月3日(木・祝)～13日(日)までの11日間 ※約380件あまりを一斉公開予定

企画事業 10月1日(土)～11月30日(水)までの2か月間 ※企画事業件数は約140件あまりを予定

東京文化財ウィークの内容の詳細については、区市町村教育委員会や郷土博物館等に設置されるガイドステーションで配布予定の「企画事業プログラム(9月中旬配布予定)」「公開事業ガイドマップ(10月上旬配布予定)」を御覧ください。なお、事前の予約・申込みが必要なものや、一部有料のものもありますので、御注意ください。

平成17年度の
オススメは、コレ!!

『赤い鳥』を語り継ぐ 「おばあちゃんのおはなし会」

(2004年東京都知事賞受賞企画事業)

- ★豊島区で生まれた童話童謡雑誌『赤い鳥』所収作品を女流詩人が読み聞かせてくれます。
- ★平成17年10月1日(土) 午後2時～午後3時 定員50名 無料
- ★都指定有形文化財(建造物)に指定されている旧マッケーレブ邸(雑司が谷旧宣教師館)で行われます。
- ★地下鉄有楽町線「東池袋」駅下車 ⑤番出口 徒歩10分
- ★詳しくは豊島区雑司が谷旧宣教師館(電話03-3985-4081)まで



この他、都内に所在する
有名な洋館としては、

『旧前田侯爵邸洋館』

目黒区駒場4-3-55
(京王井の頭線「駒場東大前」駅下車徒歩10分)
イギリス・チューダー様式の趣のある洋館です

文化財ウィーク期間中は、11月7日(月)を除いて毎日見学できます。(通常は、土曜・日曜・祭日のみ公開しています)もちろん、ここも都指定有形文化財(建造物)に指定されています。

『雑司が谷旧宣教師館』とは、



明治40年(1907)にアメリカ人宣教師J・M・マッケーレブが建てたものです。マッケーレブは昭和16年(1941)に帰国するまでの34年間この家で生活をしていました。19世紀後半のアメリカ郊外住宅の特色を有する質素な外国人住宅であり、都内でも数少ない明治期の宣教師館の一つとして貴重です。文化財ウィーク期間中は11月4日(金)、7日(月)を除いて毎日見学できます。

ここでひとつうれしいお知らせ!

東京文化財ウィーク2005(東京都教育委員会企画事業)

『旧前田侯爵邸洋館サロンコンサート』

- ♪旧前田侯爵邸洋館において、東京都交響楽団員による演奏会を企画しています。
- ♪演目は、親子向けの親しみやすい内容で、きっと聞いたことのある曲もあるはずですよ。
- ♪日時は、11月12日(土)の午前11時と午後1時の2回です。(所要時間は各回30分を予定しています)
- ♪定員は、100名(各回先着順で椅子席を用意します。定員を超えた場合は立ち見となりますので御了承ください。)
- ♪費用は、無料です。
- ♪問い合わせ先 東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課文化財保護係
電話: 03-5320-6862

東京都ではこのほかにも、様々な歴史と趣をもった文化財を公開しております。

例えば、『旧岩崎家住宅』(重要文化財(建造物))

三菱合資会社三代目社長岩崎久弥氏の旧宅です。豪奢な洋館と山小屋風のビリヤード室からなります。格式のある和館も見応えがありますが、洋館部分はイギリスの建築家コンドルが設計したもので、細かい装飾には目を見張るものがあります。



- ・地下鉄千代田線湯島駅下車 徒歩3分(台東区池之端1-3-45)
- ・文化財ウィーク期間中は、全日程9:00～17:00(入園は16:30まで)
- ・料金は、一般400円 65歳以上200円
(小学生以下・都内在学在住の中学生までは無料)
- ・問い合わせ先 旧岩崎邸庭園事務所(電話:03-3823-8033)

—お願い— 文化財を見学するときは、マナーを守って見学しましょう。

詳細は、東京都生涯学習情報ホームページにも掲載予定です <http://www.syougai.metro.tokyo.jp>